

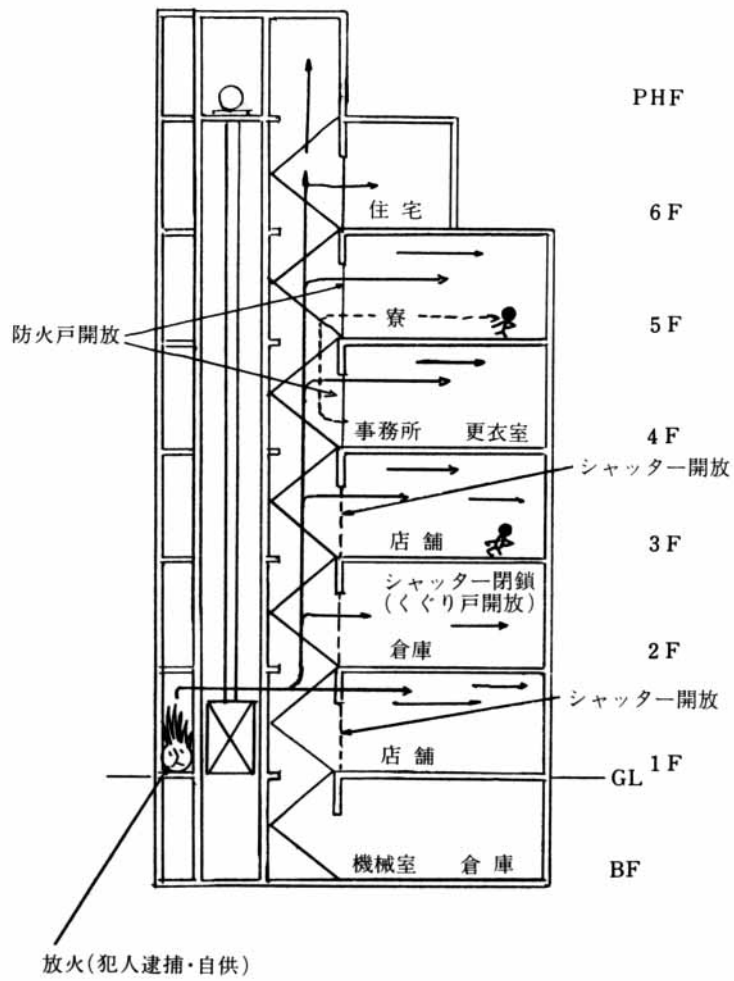
名 称 所 在	用 途 (令別表)	発 生 日 時 等	構 造 ・ 階 層 面 積	焼 損 程 度 (焼 損 面 積 延 面 積)	死 傷 者
中部ユニ 栄さが美センター	店 舗 (4)	昭和47年 3 月30日	耐火 Ⅲ	④・半・部・小	死者 2 名
		出火14時44分ころ 覚知14時49分 覚知別 報知電話 鎮火16時23分	建 173m ² 延 1,125m ²	785m ² (70%)	傷者 1 名 ()
愛知県名古屋市 中区栄 3 - 7 - 16					

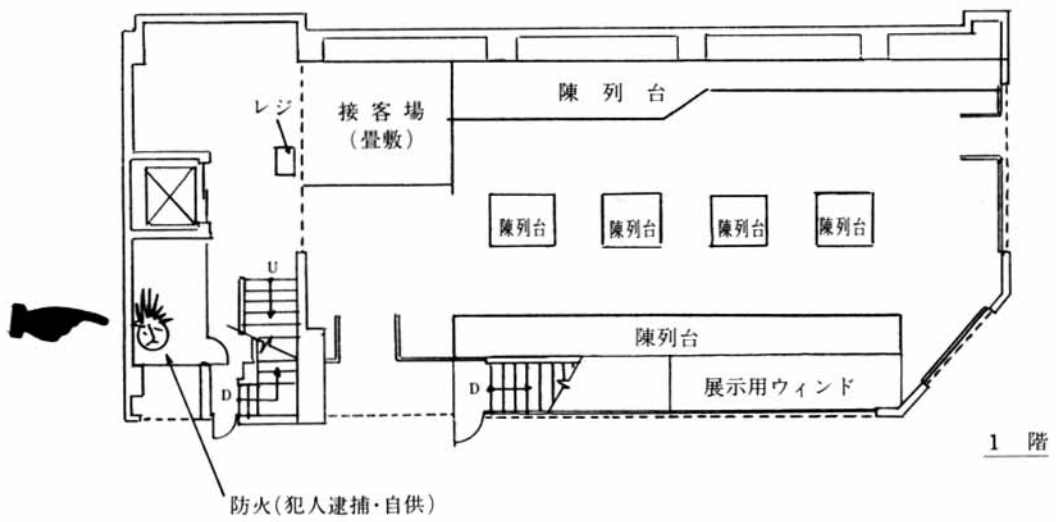
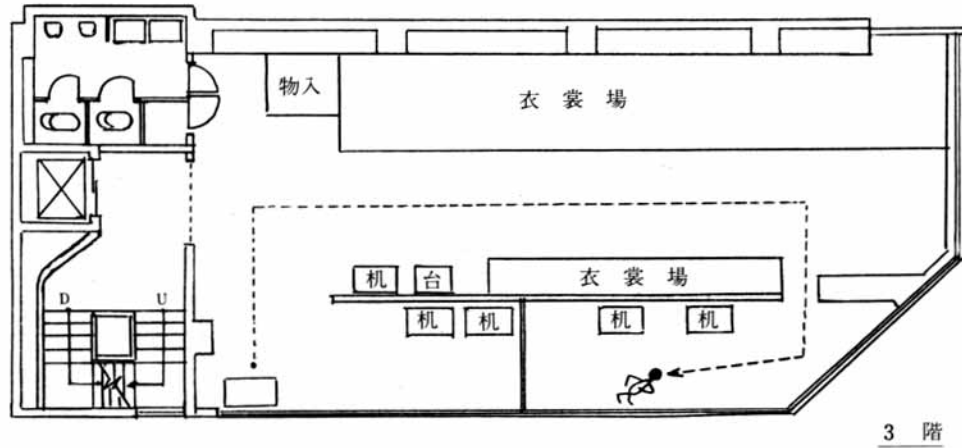
I 火災概要								
① 概 要	名古屋市の中心街にあるセンターの1階、階段そばの物置から開店中の14時44分頃、放火により出火し全焼した火災である。さいわい客がおらず従業員だけだったが、火災対応のまずさや、唯一の屋内階段付近から出火したため二方向避難がとれない等の避難施設の手薄さから2名が逃げ遅れて死亡したものである。							
② 階 別 状 況	階	床面積 m ²	焼損床面積 m ²	用途(売場)	在館者	死 者	避難設備等	消防用設備等
	PH	23					屋内階段 (B1~PH) 1箇所	③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
	6	88	35	前店長の住宅				
	5	168	84	店 員 寮		1		
	4	168	168	事務室・更衣室	1			
	3	168	157	店 舗	2	1		
	2	168	168	倉 庫				
	①	173	173	店 舗	4			
	B1	168		機械室、倉庫				
	合計	1,125	785		7	2		
③ 出 火 場 所	(階、室、部位、可燃物状況、居室・非居室、在・不在) 1階・階段横の物置の中から出火 物置の中には、掃除道具、ダンボール箱2~3箇、展示用小道具などが若干入れてあった以外は、火気使用器具・電気器具等なにもなかった。				④ 出 火 原 因	放火の疑い		

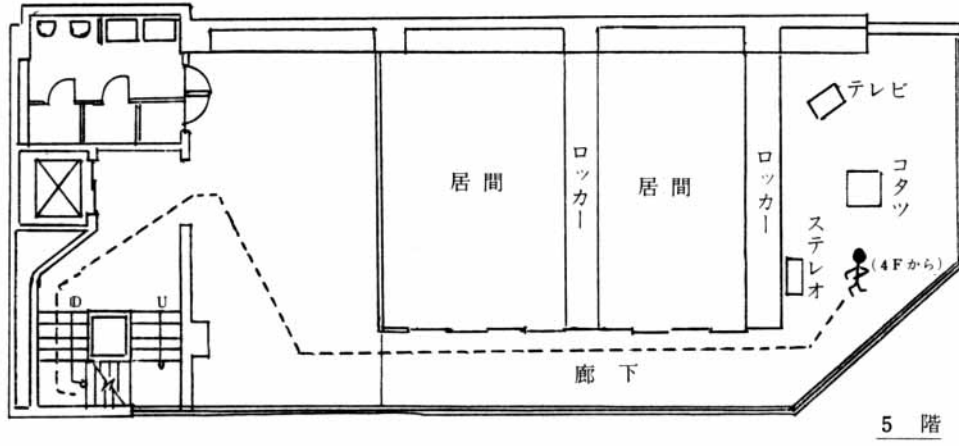
⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">(出火部位) 1階、階段横の 物置の中</div> <div style="text-align: center;">(出火室の拡大) 物置の中の掃除道具、ダ ンボール等の収納物品</div> <div style="text-align: center;">(他室への拡大) 内装・商品、シャッ ター開放部分</div> <div style="text-align: center;">(上階への延焼) 階段室 防火戸・シャッター 開放部分</div> </div>			
	<p>1階の階段付近から出火した火は、階段室の壁体内張の合板及びジュータンを延焼媒体として一挙に上階へ燃えあがり、各階の階段室防火シャッター・くぐり戸等の開放部分から各階内部へ延焼拡大した。</p> <p>6階は、階段室と住居部分を区画する網入ガラス戸（防火戸）が、施錠されていたので、住居の出入口部分を表面的に焼きしたのみであった。</p> <p>○ 延焼拡大した主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 階段付近から出火したうえ、各階の階段区画用シャッター・くぐり戸等が閉鎖されていなかった。 ○ 階段室の内装が合板板張であったうえ、ジュータンが敷いてあった。 <p>○ 煙の伝播経路</p> <p>階段・防火シャッター・防火戸の開放部分から伝播していった。</p>			
II 火災建物概要				
① 建 築	着工・竣工又は主たる改築等 （新築）昭和31年4月 日 （ ）昭和 年 月 日			
管 理 状 況	② 豎 穴 の 状 況		③ 防 火 管 理 状 況	
	階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input type="checkbox"/> エレベーター <input checked="" type="checkbox"/> パイプシャフト <input type="checkbox"/> エスカレーター <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/>		従業員等に対する防災教育が徹底していなかった。	
1階から5までの階段室は壁体が合板板張りとなっていた。				
管 理 状 況	④ 防 火 区 画 等		⑤ 消 防 用 設 備 等	
	各階階段室でシャッター・防火戸により区画されていた。		○自動火災報知設備の維持管理が十分になされていなかった。 ○署より指導された事項を速かに改善していなかった。	

III 火災後の行動						
① 発 見 状 況	<p>○発見者 (店 長)</p> <p>○発見の動機 (「パチッ」という音)</p> <p>○発見後の行動 (大声で叫ぶ)</p> <hr/> <p>当時建物内に客はおらず、店長は1階で店員1名とともに、エレベーターの前約5mの位置で、商品に値札を付けていると、エレベーター付近で「パチッ」と音がして、蛍光灯が少し暗くなったので近寄ってみると、蛍光灯部分の天井から火が吹き出しているのを発見し、大声で「火事だ」と叫び、店員に通報する様指示する。</p>					
② 通 報 状 況	<p>通 報 した <input checked="" type="checkbox"/> (店 員) 出火後約(5)分</p> <p>通 報 しない <input type="checkbox"/></p> <hr/> <p>火事を見つけた店長は、一緒にいた店員に119番するように指示した。</p>					
③ 初 期 消 火 状 況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">消 火 し た</td> <td style="width: 35%;"> 成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> </td> <td rowspan="2" style="width: 50%; vertical-align: top;"> (理由又は状況) 店長は、大声で「火事だ」と叫び、店員に通報する様指示するとともに、エレベーター近くにあった消火器を用いて消火しようとしたが消火できずそのまま避難する。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">消 火 し ない</td> <td> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/> </td> </tr> </table>	消 火 し た	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 店長は、大声で「火事だ」と叫び、店員に通報する様指示するとともに、エレベーター近くにあった消火器を用いて消火しようとしたが消火できずそのまま避難する。	消 火 し ない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
消 火 し た	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 店長は、大声で「火事だ」と叫び、店員に通報する様指示するとともに、エレベーター近くにあった消火器を用いて消火しようとしたが消火できずそのまま避難する。				
消 火 し ない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>					
④ 消 火 活 動 概 要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <p>先着隊到着時、出火建物から噴出する濃煙のため、付近一帯は視界がきかない状態であった。全館から猛烈に火炎と濃煙が噴出して、屋内進入の方法がなく、関係者からの状況把握に努めようとしても、誰も見当らず、消防活動を困難にした。</p>					

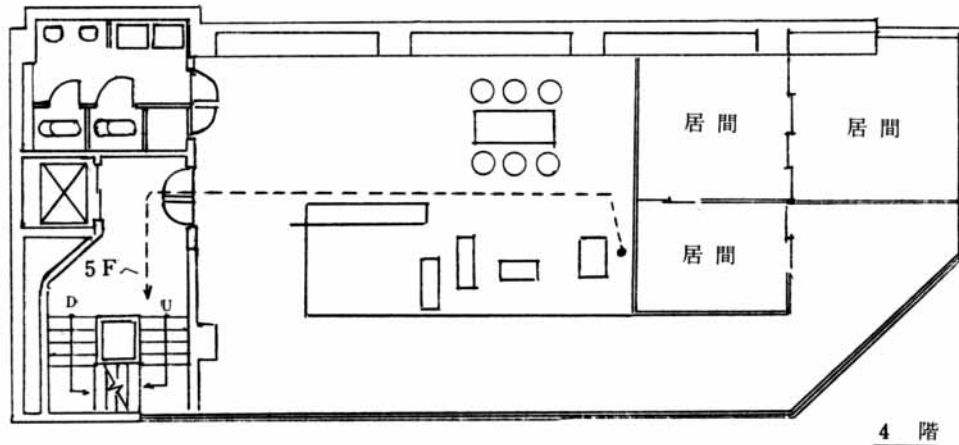
	避難方法	避難上支障事項
⑤ 避難 状況	○階段を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○エレベーター、エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> (人) ○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○窓、開口部から直接地上へ <input checked="" type="checkbox"/> (1 人) ○救助 <input type="checkbox"/> (人) ○その他() <input type="checkbox"/> (人)	○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
	○3階にいた店員2名のうち男(28才)は、店長の叫び声で火災を知り、階段から吹き上げてくる熱煙のため避難できず、近くにあった掃除機の本体で窓ガラスを破ってアーケード上に飛び降り避難(軽傷で助かる)。 ○1階にいた店長・店員は無事避難している。	
⑥ 死者 の 状況	健康人 2名 (泥酔者 名) 要保護者 名 [乳幼児 名] 高齢者 名 身体不 自由者 名 病人 名	避難上支障となった事項 ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
	○3階にいた女店員(23才)も、店長の叫び声で火災を知ったと思われるが階段から避難することができず、同階の奥の事務室に逃げこみ、窓ガラスを破って助けを求めるともできず窒息死したものと思われる。 ○4階にいた男子店員(45才)は、火事に気付き、5階に上がったが、さらに上階(屋上)へ行くことができず、5階の従業員寮に逃げこんで窒息死したものと思われる。	
IV 問題点・教訓等		
1. 二方向避難できるように、屋内階段と相反する位置に、屋外階段等の避難施設を設ける必要がある。 2. 既存の建築物であっても、階段室の防火戸は煙感知器と連動する等の、自動閉鎖式にすることが望ましい。 3. 各室及び階段室の内装材を不燃化するとともに、階段にはじゅうたんなどを敷かないようにすべきである。 4. 窓の内側に張りめぐらされた合板張りの遮光壁は、避難及び消火活動の障害となるばかりでなく、延焼拡大の要素となるので設けさせるべきでない。		







5 階



4 階